

日米水協カイニシアティブ

(きれいな水を人々へ : Clean Water for People)

平成 14 年 8 月

1. 目的

- 2001 年 6 月、小泉総理とブッシュ大統領は、「安全と繁栄のためのパートナーシップ」を共同で発表し、地球規模の課題に取り組むため二国間協力を拡大することを約束した。
- この一環として日米両国は、「持続可能な開発に関する世界首脳会議 (WSSD)」の主要な論点の一つとなっている水の分野で協力を強化する。

2. 概要

日米は、それぞれ次の取組を強化する。

(1) 米側の取組

水・衛生へのアクセス改善、流域管理及び適切な衛生事業の促進、並びに生産性向上のため、以下の措置を含め 3 年間で 9.7 億ドルを供与。

－西アフリカ水イニシアティブ

NGO 等との連携による村落レベルでの給水事業

－都市給水イニシアティブ

技術協力及びパイロット事業による民間投資の誘導

－きれいな水のための債務保証 (Clean Water Investment Guarantees)

民間の給水事業に対する債務保証の付与

(2) 日本側の取組

過去 5 年間で 4,000 万人以上の人々に対し、安全な飲料水及び衛生へのアクセスを提供。こうした努力を今後も続けていく。

－給水率が比較的低い国または地域においては、水資源開発及び安全かつ安定的な水供給の重点的推進

－給水率が比較的高い国または地域においては、適正な水資源管理のための能力向上支援

－人口が集中し下水道普及率が低い都市部においては、下水道整備支援

(3) 今後の取り進め方を検討し、第三回世界水フォーラムに向けた提案を策定すべく、専門家による作業部会を設置。また、他のドナー等に対し、本イニシアティブへの参加を呼びかけていく。

(了)